



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113
〒496-0036

代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

夏の宴/ S・O・S

今年も8月14日(火)に夏の宴を開催します。

日頃のご愛好に感謝して皆様をご招待(?)し、盆踊りに流しうめん、ゲーム、和太鼓演奏などスタッフ手作りの夏祭りを楽しんで頂ければ嬉しい限り。愛宕の家で看取りまでを一緒に過ごした方々への盆供養(盂蘭盆経)、他にも、地域の方に介護事業所がどのような所なのか…この機会に気軽に訪れて

いただけるように回覧板でご案内。定期の利用者さんに関しては、希望により送迎や参加中の見守り及び介助を無償対応しております。是非是非、お申し出ください。



尚、当日は、通所介護は休業、訪問介護は時間帯の調整にて対応。小規模多機能は内容の見直し等を行わせていただきながら、夏の宴を開催します。ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願い致します。

(By 実行委員)

8月の利用状況と行事予定

- ☆ナイス・ケア(定員なし)
 - …新規サービス大歓迎
- ☆愛宕の家(定員17名)
 - …入居者13名
- ☆ナイス・ホーム(定員21名)
 - …登録者14名
- ☆つしま紹介所
 - …求職者・求職者大歓迎
- ☆ナイス・デイ(定員10名)

日	月	火	水	木	金	土
6	5	4	5	7	7	6

上記の数字(人数)は定期利用者数
(☆募集中★満員 お気軽に問合せ下さい)

8月の行事予定

- 14日 夏の宴
- 20日 避難訓練
- 25日 愛宕の家・家族懇談会

4年に一度！/愛宕の家

愛宕の家では大相撲が一番人気。名古屋場所は大いに盛り上がっていました。今年は引き続きオリンピックの開催。4年に1度のオリンピック。TVに関心のない入居者さんにも関心を持ってもらいたい！と、大きな紙に「がんばれ日本」とタイトルを書きメダルを貼り付ける事を企画しました。テレビの前で競技を楽しまれる方、メダルの数を数えて楽しむ方、メダル作りを楽しまれる方、様々です。テーブルを囲んでワイワイやっていると通りかかった職員から声をかけられ会話が弾みます。皆で楽しく…！ 出来るのは団体生活の利点ですよ♪



看護師コーナー/ ちょっと疑問解決コーナー休憩…

「人間の尊厳 リハビリで守る」=がん患者の緩和ケアや終末期のリハビリに取り組んでいる理学療法士さんの新聞記事に刺激される。

「患者の筋力や痛みの程度をみながら、杖などの補助具を利用してそのときに残っている力で動作ができるように練習する。出来ることが増えれば精神的にも前向きになれる。がんそのものの治療が進歩していても、身体的な後遺症でやりたいことができずに悩んでいる人もいて、リハビリを必要とする人も多い。患者から聞く最も多い願いは「最後まで歩いてトイレに行きたい」だという。その人が満足した生活を送れるようにするのが私たちの役目。リハビリでその人の尊厳を最期まで支えたい。」

愛宕の家で体力低下から自己摂取が出来なくなった方がみえた。全介助に切り替えて体力をつけることになり、最近では病状も安定していた。ところが、安定していたのに全介助のままでも疑問に思わなかった。そこへ、社長の一言、「機能低下させるな！」。その一言に私も気付かされ、再度、自己摂取出来るように関わりを持つことになった。人間の尊厳…常に忘れないよう、色々な職種の人と連携をとりながら、尊厳を守りたいと考えている。

勇気—38歳 決死の覚悟—/ナイス・キッズ

<R・W>

立っている場所から約3m下の水面をジーンと睨んで、心臓をバクバクドキさせている私。その傍らで7人の子供たちが私をジーンと見ている。

毎年恒例になった、“夏休みだ、美杉へGO！(2泊3日旅行)”その初日の事である。いつものように川に入り、ちゃぱちゃぱと楽しんでいて、『上から飛び込めるよ。楽しいよ♪やってみ(´・`)]との声。そう言った張本人は体調不良で、自分は川にこそ入れないが楽しみ方を伝授しようと必死の様子。子供達は、川への飛び込みなどやったこともない。『りかちゃん、先にやってえ〜』と言う。そりゃそうだ…。でもねえ、私も38年間生きていて川への飛び込みなんてやったこと無いのよお〜。…どうしよう…。でも、やれたら面白そう。でも怖い…と、疑心暗鬼に暮れていたその瞬間、他の職員が先陣を切った。水恐怖症のはず。後で聞くと『りかちゃんを見ていたら度胸が据わった。』…らしい。でも、それを機に、私もエイツ！と飛び込んだ。キャ〜、めっちゃめっちゃ面白い！！



それを見て、子供たちも『今度はオレッ！』と次々に飛び込む。楽しいことって直ぐに伝染する。子供に色々なことを伝えるには自ら楽しそうな様子を見せるが一番早い♪♪これからも一緒に色々な体験を楽しみたい。

忘れられない利用者さん/ナイス・ケア<K・U>

平成22年3月から勤めました。利用者さんやご家族さん、また一緒に働く職員さんには本当にお世話になりました。現在までの間、担当させて頂いた利用者さんは多くはありません。Oさん、朝、訪問した際に声を掛けると「おはよう」と返事を返してくれたときの笑顔が今でも印象に残っています。私の父と同じ肺疾患で、つい姿がダブリ、「情が入ってはいけない」と言い聞かせながら訪問介護に伺いました。頑固なところもありましたが、穏やかで優しい方。その日の体調に合わせて、起床や洗面を促したり、酸素の管が外れていないか、また、排泄や清潔の援助をしたり…。ご家族からも頼って頂けていると感じることが多く、色々な話を出来るのが嬉しかったです。「ありがとう」の言葉に、私の方が救われたこともありました。

Oさんは亡くなりましたが、今でも近くを通ると、ふと思い出します。家庭の事情により、7月末を以て退職することになりましたが、訪問介護を通して培った経験は今後の人生に生かしたいと思っております。ありがとうございました。

先月の通信を読んで…/ナイス・ホーム <Y・O>

「小規模の空きはありますか？通信を読んで電話しました。」と、居宅介護支援事業所のケアマネさんからの1本の電話がありました。思わず「ありがとうございます」と言葉がでました。「とても思い入れのある利用者さんがいます。小規模の制度を知り、今の様子から考えると、登録利用を勧めた方が良かったか迷っていたが、小規模に移行したら、自分との関係が終わってしまうと思いきや、なかなか口に出せなかった。でも、担当していなくても一緒に関わらせてもらえたら…」と。何とも嬉しい言葉でした。『空いています。ケアマネさんからご家族へ紹介し、納得されたら見学に来て下さい。』実際に、小規模多機能制度のことを利用者さんやご家族へ説明され、一緒にナイス・ホームへの見学…。という運びになりそうです。居宅介護支援事業所からの紹介で8月1日に登録された方が居ます。小規模に登録後もケアマネさんは利用者さん・ご家族への声かけをされ、利用方法などの相談対応をされています。同じ利用者さんに対して、違う目線・色々な考え方で相談援助に関われる。居宅のケアマネさんの存在は実に貴重でありありがたい。居宅と小規模がお互いに特徴を理解し合って、利用者さんのために協力できる体制が当たり前になると嬉しいなと思います。先日の運営推進会議でも「定員一杯になったらそれまで…」ではなく、地域の方に小規模制度を必要とする時に、順番に登録利用～そして居宅へと流動的利用してもらえたら。」という話題も出ました。



やってきました夏祭り/ナイス・デイ

<M・O>

この時期になるとナイスデイでは夏の宴にむけて手作りの看板作りが始まる。お花紙で紅白の花を作っていく作業。「8枚ずつ数えて一ね！」「破れんようにそーっと開いて一よ！」と声掛けしながらみんな黙々と手が動く…。ところがいざお花紙を折る段階になると「あれ！これ何だか薄い…」「これ分厚くてホッチキスの針がささらん！」「あーっ！破れちゃった…」等々。

手作りならではの光景。今年はどうな看板が出来るやら…？外はまだまだ猛暑…。エアコンの効いた涼しい室内で今日もお花作り。頑張ろっ！



編集後記

<A・M>

「愛」の反対語は“憎しみ”ではなく無関心”。マザーテレサの言葉を、最近ラジオでよく耳にします。家族でも友人とでも、介護者と要介護者でも…相手を気遣い、関心を持つからこそ様々なやり取りが生まれるもの。人として、関心を持つからこそ、干渉し過ぎないように、手を出し過ぎないように、との心掛けが大切。お互いの距離感を保つ難しさを感じることもあります。他、今年度の利用者アンケートは9月に実施するそうですよ。